

平成26年度(第51年度)

## 事業計画書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

### 1. 事業方針

野菜の価格は天候の影響や消費の動向に大きく左右されるため、生産農家の経営は不安定性が強く、需給および価格の安定をはかることが重要な課題となっております。

こうした中で、野菜生産出荷安定法をはじめとする国、県の施策に基づき価格補てん金・価格差補給交付金等の交付を行うことにより、生産地域における持続的な生産及び出荷の安定を図り、もって国民消費生活の安定に資する事業を実施します。

### 2. 制度の改正

業務対象年間等について業務方法書を変更し拡充強化、適正化をはかります。

#### (1) 岡山県野菜価格安定促進事業

平成25年度において交付金交付があった業務区分、また平成26年度に予約数量が減量となる業務区分については業務対象年間を短縮し、新たな業務対象年間を設定いたします。

#### (2) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

平成25年度において交付金交付があった業務区分、また平成26年度に予約数量が減量となる業務区分については業務対象年間を短縮し新たな業務対象年間を設定いたします。

また、制度改正により一部の業務区分で対象出荷期間が変更となりましたので「春夏にんじん・中国ブロック・4月～5月」を「春夏にんじん・中国ブロック・3月16日～5月」、「春はくさい・近畿ブロック・4月～6月」および「春はくさい・中国ブロック・4月～6月」を「春はくさい・近畿ブロック・3月16日～6月」および「春はくさい・中国ブロック・3月16日～6月」へと変更いたします。

さらに、アスパラガスについては対象特定野菜のうち重要特定野菜となる見込みのため、制度改正後、負担割合について変更いたします。

対象市場、卸売業者名、住所について一部変更いたします。

(3) 指定野菜価格安定対策資金の円滑化に資する事業

指定野菜価格安定対策事業造成計画に基づき県が新たに造成する場合において県補助金を独立行政法人農畜産業振興機構へ納付します。

3. 事業計画

交付予約数量は見直して適正化をはかり11,035トン（前年度より455トン減）でこれに対する準備金および交付計画額は473,606,900円（前年度より24,499,500円減）を造成します。

(1) 岡山県野菜価格安定促進事業

交付予約数量は4,085トン（前年度より325トン減）でこれに対する価格補てん準備金総額および交付計画額は161,212,400円（前年度より16,382,000円減）となります。

(2) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

① 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

交付予約数量は1,495トン（前年度より45トン減）でこれに対する価格差補給交付準備金総額および交付計画額は70,290,400円（前年度より1,514,500円減）となります。

このうち事業の3割（重要特定野菜については5割）を負担する国分31,009,335円は独立行政法人農畜産業振興機構で資金管理をしている為、協会では差額の39,281,065円を造成します。

② 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

交付予約数量は5,455トン（前年度より85トン減）でこれに対する価格差補給交付準備金総額および交付計画額は242,104,100円（前年度より6,603,000円減）となります。

このうち事業の約5割を負担する国分121,129,148円は独立行政法人農畜産業振興機構で資金管理をしている為、協会では差額の120,974,952円を造成します。